

海外動向報告会イベントレポート

2026 年 2 月 6 日 CONSEO 事務局

2025 年 12 月 16 日（火）、X-NIHONBASHI にて JAXA 駐在員事務所長による海外動向報告会が開催され、会場およびオンラインを通じて、海外展開に関心を持つ多くの皆様にご参加いただきました。本報告会では、世界各地の宇宙政策・産業動向について、駐在員事務所長ならではの現地に根ざしたリアルな情報が共有されるとともに、日本の宇宙企業が今後どのように海外と向き合っていくべきか、そのヒントとなる内容が紹介されました。

■ 米国の宇宙政策・産業動向 ～変化の激しい政権環境の中で拡大する多様な宇宙産業～

JAXA 調査国際部長の小野田勝美氏による開会挨拶の後、ワシントン駐在事務所の和田恵一氏より、激動の変化が続く米国の宇宙政策を巡る最新動向が紹介されました。研究開発予算における「選択と集中」をキーワードに、NASA を取り巻く米国政府の体制と方針について触れられ、アルテミス計画を中心とした月・火星探査への集中とともに、AI やビッグテックの後押しを受けて、多様な宇宙ビジネスが急速に拡大しつつある米国のトレンドが示されました。

また、ヒューストン駐在員事務所の西川岳克氏からは、堅調な経済成長を続けるテキサス州における宇宙産業施策の最新動向が紹介されました。州政府が設立した Texas Space Commission による助成制度や、NASA ジョンソン宇宙センター周辺で進む産学官連携拠点の形成を通じ、月・火星探査や商業宇宙を見据えたエコシステムの形成が加速している状況が共有されました。



ワシントン駐事務所長 和田氏



ヒューストン駐事務所長 西川氏

■ 欧州の宇宙開発動向 ～米国依存からの自立と「ゴールドラッシュ」～

パリ駐在員事務所の森本幸一氏からは、ウクライナ危機をトリガーとした欧州全体の宇宙政策動向について報告がありました。欧州の宇宙・防衛分野における米国依存と自立性の課題が浮き彫りになる中、安全保障分野における宇宙能力の不足を受け、通信衛星や防衛関連宇宙分野への投資が急速に拡大している状況が共有されました。こうした構造変化を受け、ESA 予算の増加や企業統合が進んでおり、

欧州の宇宙開発は自律志向を強めつつあるとの見解が示されました。

■ロシアの宇宙政策動向 ～国際情勢の変化の中で模索されるロシアの宇宙政策～

モスクワ技術調整事務所の和田理男氏からは、ロシアにおける宇宙政策動向について報告がありました。ロシア経済は減速状況にあるものの、宇宙分野は国家戦略として位置づけられており、宇宙関連予算や Roscosmos への配分は増加傾向にある模様。Roscosmos 総裁による 7 年ぶりの NASA 長官との対談も話題となり、ISS 運用を通じた米国との協力が継続されている一方で、中国やインド、北朝鮮など非欧米諸国との連携を視野に入れた動きが見られつつあることも紹介されました。



パリ駐事所長 森本氏



モスクワ技術調整事務所 和田氏

■アジア・太平洋の宇宙政策動向 ～地域の課題に応じた連携・協力の広がり～

バンコク駐在員事務所の中村全宏氏からは、アジア・太平洋地域における宇宙政策・産業動向と、同事務所の取り組みについて報告がありました。同地域では、衛星通信を起点とした宇宙イノベーションが進展しており、地域の社会課題解決に向けた宇宙サービスの利用と連携が拡大しつつある現状が具体的な事例とともに共有されました。特に多様で多元的なプレーヤーが集まるインドを今後の重要地域として見据えつつ、人と人との出会いを基盤として、関連機関と協力し合いながら日本の技術の強みを現地の課題に合わせて打ち出していく重要性が示されました。

■日本の宇宙ビジネスの海外展開促進に向けた支援について

JAXA 宇宙戦略基金事業部・新事業促進部の伊奈康二氏からは、日本の宇宙ビジネスの海外展開促進に向けた支援の取り組みについて紹介が行われました。2024 年度より実施している企業アンケート調査の分析結果を踏まえ、企業ニーズに基づく展示会出展支援やネットワーキング、宇宙戦略基金を活用した海外実証支援など、具体的な JAXA の支援事例が共有されました。また、新たな支援の枠組みとして、「Co-funded 事業推進枠組み(CBPF)」の概要についても紹介され、その後の質疑応答では、参加者から海外展開に対する強い関心が寄せられる様子も見られました。



バンコク駐事務所長 中村氏



宇宙戦略基金事業部 伊奈氏

■トークセッション

後半は、ワシントン、パリ、バンコクの各駐在員事務所長が登壇し、2025 年を取り巻く世界情勢を踏まえ、衛星地球観測を中心とした宇宙産業の環境変化について、より踏み込んだトピックスが共有されました。JETRO などの関連機関やパートナー企業の視点も交えた海外展開の参考事例や、各地域における今後の見通しや考え方についても意見交換が行われました。各地域で状況や課題は異なるものの、世界全体の潮流と地域固有の動きの双方を捉えながら、現地の社会や企業のニーズを丁寧に把握し、関係機関や民間企業と連携して取り組みを進めていくことの重要性が共通して示されました。



トークセッションの様子



地球観測プログラム戦略室長 松尾氏より
最後に CONSEO について紹介

本報告会を通じ、JAXA の駐在員事務所として、各国・各地域に根ざしながら日々奮闘される所長やパートナーの皆様の姿が印象的だったことに加え、産業との連携の場が着実に成長していることを改めて実感する機会となりました。密度の高い情報と率直な現地の声が共有され、参加者の皆様にとって今後の海外展開を考える上で、多くのヒントときっかけを得る機会となりましたら幸いです。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた関係者の皆様に事務局一同心より御礼申し上げます。